

## 年代&属性別

# こんなお客様には このように活用を提案しよう

お客様の年代や属性ごとに、つみたてNISAの活用方法や、積立目的に適したファンドのタイプについて解説する。

- ①② **伊藤亮太** スキラージャパン株式会社  
ファイナンシャルプランナー
- ③~⑤ **菱田雅生** ライフアセットコンサルティング株式会社  
CFP®

### 1 20歳代のお客様

## 20年以上の長期運用を前提に 目標利回りに合う商品を提案



**20** 歳代のお客様は、そもそも資産運用を経験していない場合が多い。経験者でも運用額は小さいだろう。むしろ、これから資産形成を考える世代であり、つみたてNISAはもってこいの制度だ。以下に、20歳代の目的別の運用方法を解説していく。

**結婚資金の準備は  
保守的に運用する**

① **結婚資金を準備したい場合**  
結婚情報誌ゼクシィの「結婚のお金まるわかりガイド」によれば、2016年における挙式・披露宴の費用は全国平均で359万7000円。このうち、結納など婚約関連の費用が161万円、引越しなど新生活の費用が72万円とのこと。親の援助やご祝儀があ

るのですべてを二人で準備する必要はなく、地域によっても費用は異なるものの、まとまった資金があるに越したことはない。

そこで、結婚の時期を仮に5~10年後と想定し、この期間である程度の資金を構築することを検討していく。仮につみたてNISAをフル活用し、年40万円を10年間運用した場合を考えてみよう。運用額はトータルで400万円となり、年1.0%の利回りで運用できると、資金は418万4885円、年3.5%で運用できた場合は469万2557円となる（27頁の試算結果表参照）。運用利回りが変わると、10年後の資金に差が付くことが分かる。

結婚資金のようにある程度の時期までに必要な場合、保守的な運

用が好ましい。年1~2%程度の利回りを目指す必要がある。もちろん、資金に余裕がある場合はアグレッシブな運用も否定しない。

年40万円の運用額が大きいというお客様なら、年20万円を5~10年間続けてみたい。ただ、5年間の運用では複利効果がさほど望めない。そのため、つみたてNISAでは少しでも増やす運用を、残りの不足額は預貯金で用意していくことも検討しよう。

なお、運用する商品のタイプとしては、日本株や世界株式のインデックスのほか、ターゲットイヤー型が主軸となり得る。

② **老後資金を準備したい場合**  
「20歳代に老後資金の準備はまだ早い」という意見もあるだろう。とはいえ、20歳代であれば長期で

時間を味方につけた運用が可能だ。このメリットを活かし老後資金を準備するうえで、つみたてNISAは有用だろう。この場合、運用期間は20年以上を目標とし、「余裕資金の範囲内で行う」「決して途中で取り崩さない」といったルールを作る必要がある。

### 20年以上の長期投資でも 期待できる商品を選定

商品の選択では、20年以上の運用でもパフォーマンスが良いことが条件となる。インデックス投信のほか、将来も基準価額の上昇が期待できるファンドを中心に投資

するべきだ。例えば運用利回りの実績がある「ひふみプラス」や、米国の優良企業に投資する「フィデリティ・米国優良株・ファンド」などが挙げられる。リスクをとれば、運用資産の10~20%程度までで新興国株式ファンドを組み込んでもいいだろう。

例えば、年間40万円の運用で10年後に450万円程度を目指すなら、目標利回りは年3%となる。目標金額が420万円なら年1~1.5%に設定すればよい。

商品の選択では、安定型や債券重視型であれば年1~1.5%を目標として選ぶ。目標利回りが年3%程度なら世界株式や4資産インデックスを主軸とするような提案を行う。さらに高い利回りを狙うなら、新興国株式インデックスも提案する。ただ、米国の断続的な利上げなどを考慮すれば、新興国株式ファンドは今すぐ選ぶだけでなく、よいかもしれない。

### ●積立運用の結果試算

①年間40万円を10年続けた場合  
(積立額は合計400万円)

年利回り	10年後の資金
1.00%	4,184,885円
1.50%	4,281,089円
2.00%	4,379,888円
2.50%	4,481,353円
3.00%	4,585,552円
3.50%	4,692,557円

②年40万円を5年続けた場合  
(積立額は合計200万円)

年利回り	10年後の資金
1.00%	2,040,402円
1.50%	2,060,907円
2.00%	2,081,616円
2.50%	2,102,531円
3.00%	2,123,654円
3.50%	2,144,986円

③年間20万円を10年続けた場合  
(積立額は合計200万円)

年利回り	10年後の資金
1.00%	2,092,443円
1.50%	2,140,544円
2.00%	2,189,944円
2.50%	2,240,676円
3.00%	2,292,776円
3.50%	2,346,279円

④年間20万円を5年続けた場合  
(積立額は合計100万円)

年利回り	10年後の資金
1.00%	1,020,201円
1.50%	1,030,453円
2.00%	1,040,808円
2.50%	1,051,266円
3.00%	1,061,827円
3.50%	1,072,493円

(注) 簡略化のため、年間投資金額をまとめて年初に運用した場合を想定

③ **漠然と積立てを行う場合**  
明確な目的がなくてもつみたてNISAを利用したいというお客様もいるだろう。この場合、まずは使途の決まっていないう預貯金、今後増やしたい金額を聞き、それに合わせた運用を提案する。

### POINT

- お客様の目標金額に合わせて目標利回りを設定し、投資対象を選定していく
- 20年以上の長期運用でも、基準価額の上昇が期待できるファンドを中心に商品を選定